

農業振興審議会提言の反映状況について

平成30年度の進行管理における農業振興審議会からの提言を踏まえて、平成31年度の政策への反映を図りました。

【施策への反映状況に係る資料】

資料2-1 農業振興審議会からの提言に対する県の対応方針

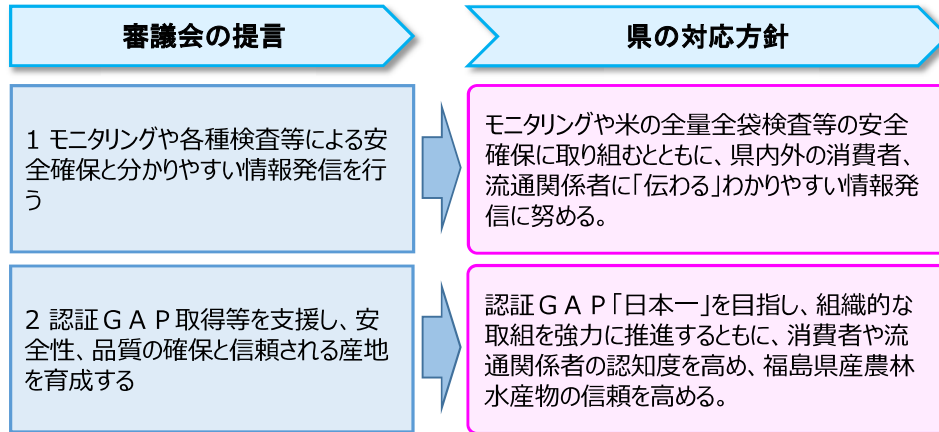
資料2-2 2019ふくしま農林水産業の再生・成長産業化

資料2-3 平成31年度農林水産部主要施策

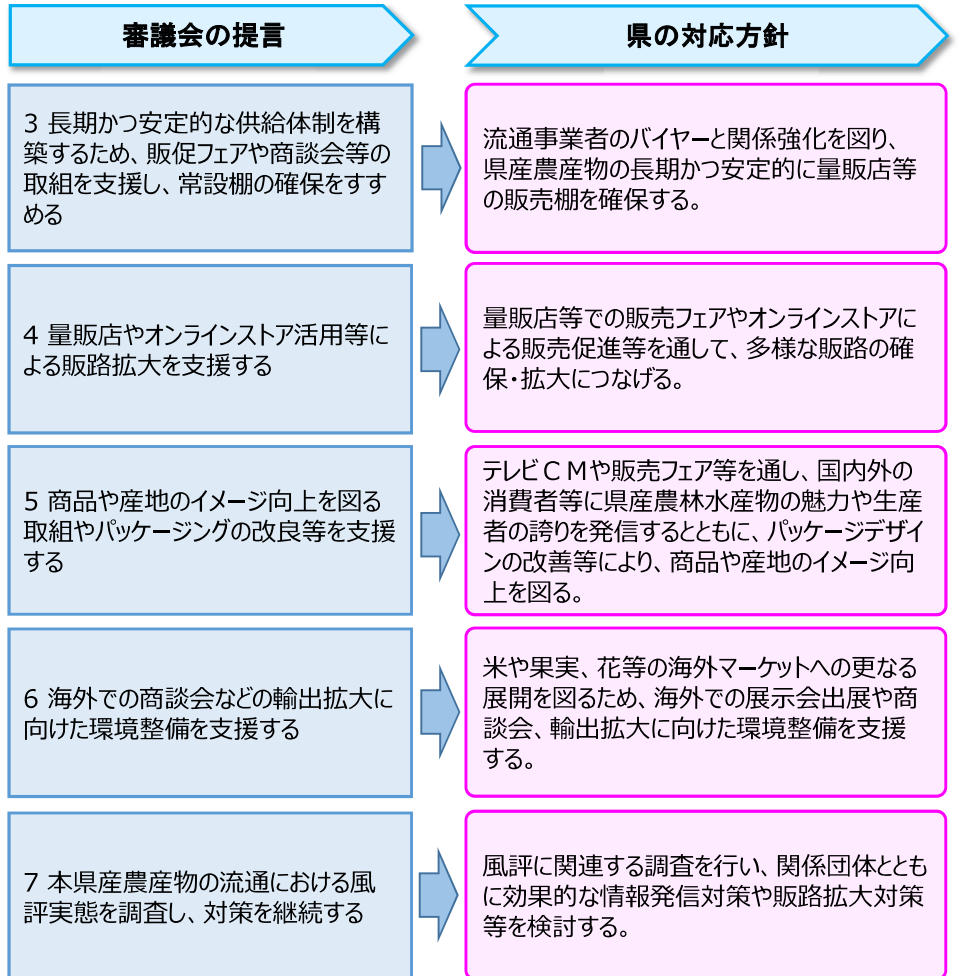
資料2-4 平成31年度農林水産部重点事業のポイント

販路の拡大

○ 消費者の理解促進と信頼される産地づくりをすすめる



○ 販路開拓とブランディングにより販売力の強化を図る



農業振興審議会からの提言に対する県の対応方針

産地の生産力・競争力強化

○ 規模拡大や効率化により産地の生産力を高める

審議会の提言	県の対応方針
1 担い手への農地利用集積の取組を支援する	農地中間管理事業の活用等の促進により、担い手へ農地の利用集積を進め、経営規模の拡大を支援する。
2 高性能機械やICT、省力技術等による高収量・安定品質の生産や規模拡大を支援する	ロボット・AI・高性能機械等の先端技術を活用したスマート農業や革新技術の導入の推進により、省力化や経営規模の拡大を図る。
3 飼料用米等の作付拡大、園芸品目導入など地域における水田フル活用の取組を支援する	酒米、中・外食用米等の作付拡大、野菜や大豆等の導入など水田フル活用を支援する。
4 施設園芸や畜産の規模拡大を支援し、生産量の拡大を図る	施設園芸や畜産の規模拡大等による生産拡大や品質向上を図る取組を支援する。
5 果樹等の輸出拡大に向けた生産・供給体制の整備を支援する	果実・花等の輸出拡大に向け、生産体制の整備を支援する。
6 農地の大区画化・汎用化等の生産基盤の整備をすすめる	農地の大区画化等、効率的な営農に対応するほ場整備、農業用水利施設の長寿命化などを進める。

○ 高付加価値化等により産地の競争力を高める

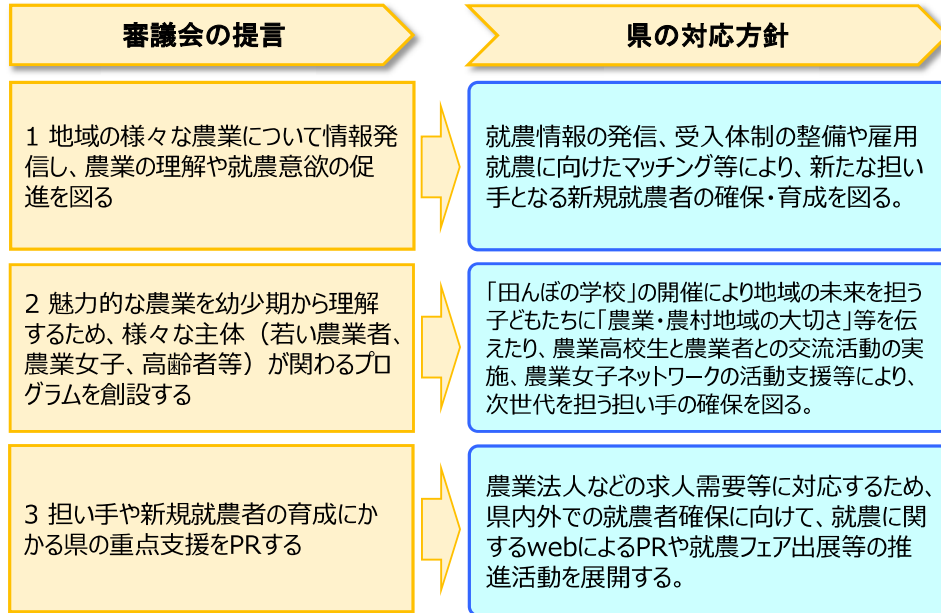
審議会の提言	県の対応方針
7 ニーズを踏まえたオリジナル品種の開発と生産拡大を図る	米やもも、ぶどう、ほんしめじ、種雄牛等のオリジナル品種の開発と産地形成を進める。
8 GI等の知的財産の活用や市町村の広域連携による生産・販売戦略の構築を支援する	地域団体商標や地理的表示(GI)の登録を支援するとともに、地域団体等が実施する商品力向上の取組や販路開拓の活動を支援する。
9 有機農業、環境保全型農業の取組への支援や消費者理解の促進を図る	有機JAS認証取得と機械・施設等の整備を支援するとともに、消費拡大に向けた啓発活動を実施する。
10 豊かな地域資源を活用した地域産業6次化の取組を支援する	地域産業6次化の取組を支援するとともに、オリジナルブランド「ふくしま満天堂」により戦略的に6次化商品の販路拡大を図る。
11 種子法廃止に対応した主要農作物の種子の生産及び品質の確保を図る	県主要農作物種子生産取扱基本要綱に基づき、これまでどおり奨励品種の決定、原種等の生産と配布、種子の品質確保を実施する。
12 農業を取りまく関連産業の情報把握と連携強化を図る	関連する企業等との連携による新たなビジネスモデルの構築を支援し、地域農業の発展、地域経済の活性化を図る。

※「県の対応方針」を踏まえた平成31年度に重点的に取り組む農林水産業の振興施策については資料2-2に、具体的な事業等については資料2-3や資料2-4に記載しています。

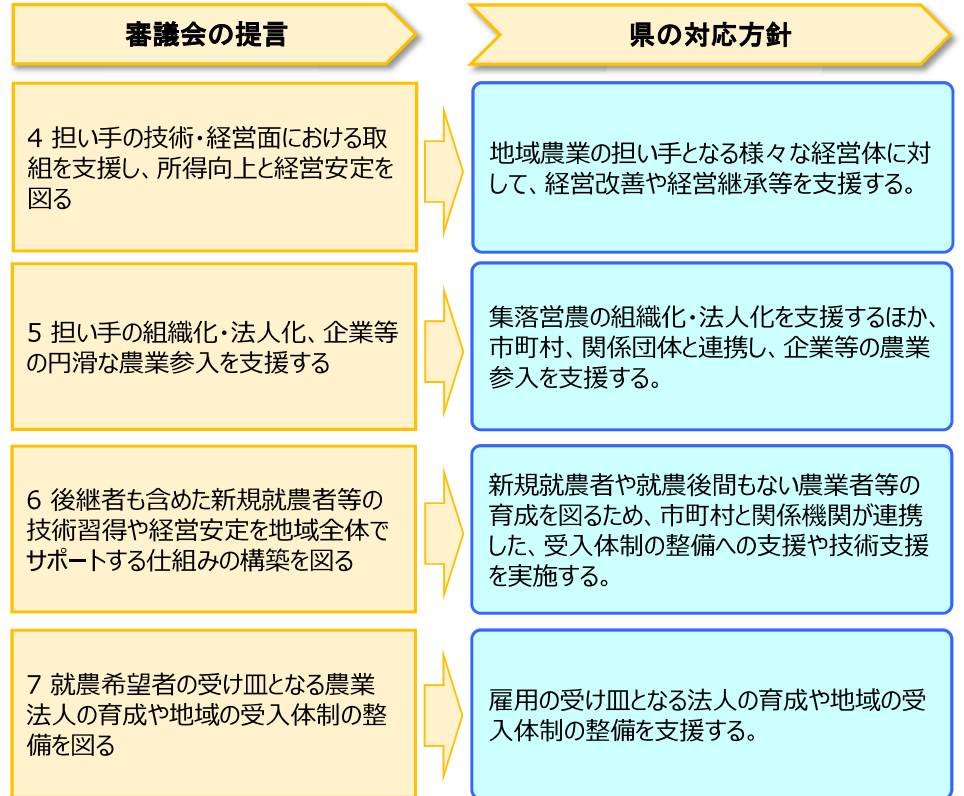
農業振興審議会からの提言に対する県の対応方針

多様な担い手の育成・確保

○ 若い世代への情報発信により、本県農業への関心を高める



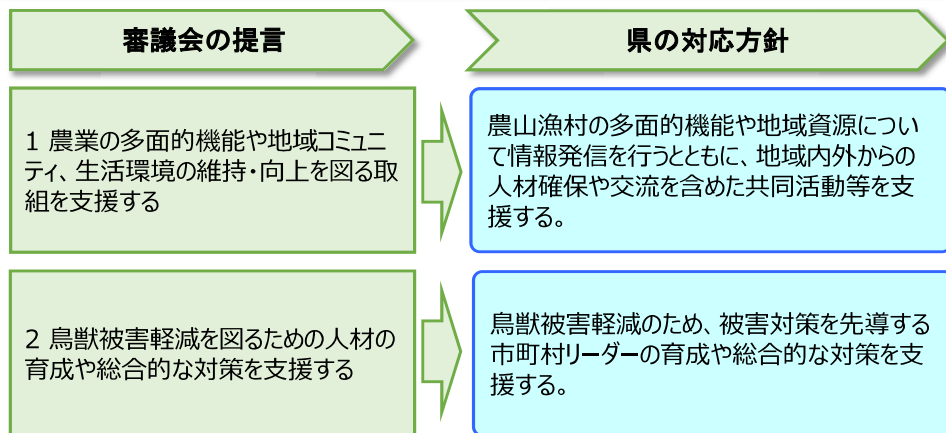
○ 地域農業を支える担い手や新規就農者等の育成・確保を図る



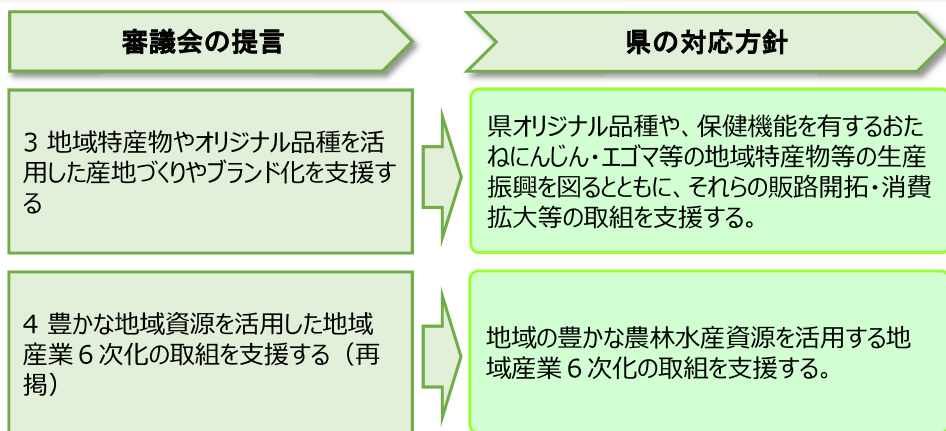
農業振興審議会からの提言に対する県の対応方針

中山間地域活性化

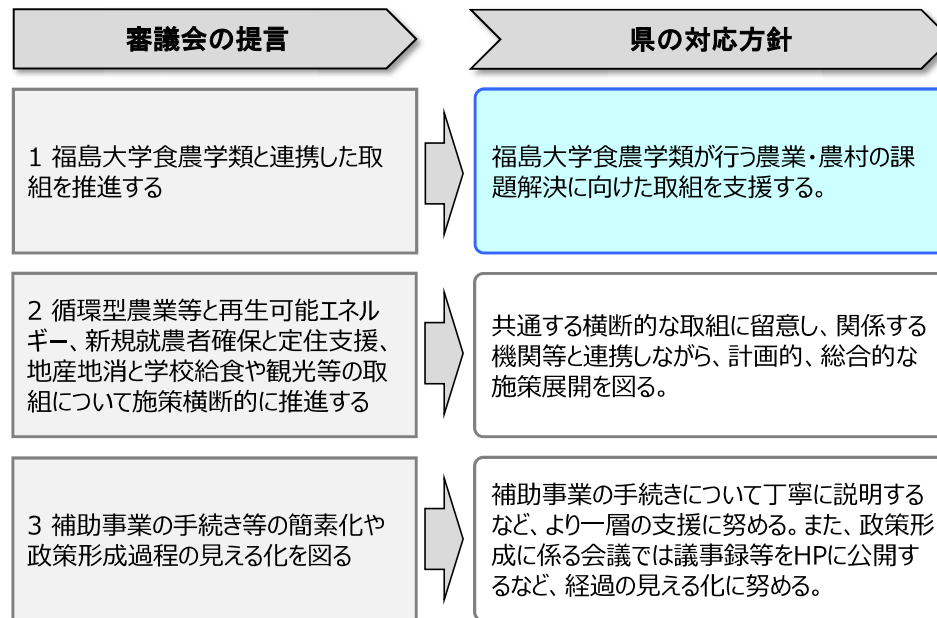
○ 魅力ある農山村の暮らしと環境を守る



○ 特色ある地域資源を活用し所得を確保する



その他（共通的な取組）



マーケット・インによる流通・販売戦略

1 消費者等の理解を促進し、信頼を取り戻す

- モニタリングや米の全量全袋検査等の安全確保の取組について県内外の消費者、流通業者に「伝わる」わかりやすい情報発信を行います。
- 認証GAPの取組について、消費者や流通関係者の認知度を高め、福島県産農林水産物の信頼を高めます。
- 地元食材や県産材の産地地消を図るため、食育や木育等による理解促進と需要拡大の取組を支援します。



GAPフェア

2 ブランディングをすすめて、競争に打ち勝つ

- テレビCMやアニメ、「ふくしまプライド。」フェア等を通じ、国内外の消費者等に魅力や生産者の誇りを発信します。
- パッケージデザインの改善等により、商品や産地のイメージ向上を図ります。
- オリジナルブランド「ふくしま満天堂」により戦略的に6次化商品の販路拡大を図ります。
- 2020年東京オリンピック等への供給を目指し食材調達や木材調達の基準である認証GAP、森林認証、水産エコラベルの取組を拡大します。



ふくしま満天堂グランプリ
くつみらんしよ 雑穀の恵み

3 新たな販路を開拓し、販売網を拡大する

- 消費者ニーズの把握と長期かつ安定的な供給体制の強化により量販店等の『常設棚』や『旬の棚』を確保します。
- 全国の消費者への直接販売の拡大に向け、オンラインストアの販売を強化します。
- 県産材を活用した付加価値の高い製品の販路拡大や木材需要とのマッチングを支援します。
- 水産エコラベルの活用等の取組や市場の流通機能強化を支援し、産地価格の向上と販路拡大を図ります。
- 外国人観光客が首都圏の飲食店において県産農産物等を食べてもらう機会を創出し、販路拡大を図ります。
- 米や果実、花、木材製品等の海外マーケットへの更なる展開を図るため、海外での展示会出展や商談会、輸出拡大に向けた環境整備を支援します。



『福島牛』と『常磐もの』の常設棚



オンラインストア
20億円突破!

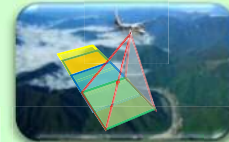
所得向上を目指した戦略的な生産活動

1 規模拡大や効率化により生産力を強化する

- 担い手へ農地の利用集積を進め、経営規模の拡大を図ります。
- 100ha規模のメガファームや大規模畜産経営体を育成します。
- 酒米、中・外食用米等の作付拡大、野菜や大豆等の導入など水田フル活用を支援します。
- ロボット・AI・高性能機械等の先端技術を活用したスマート農業や革新技術の導入により、省力化や経営規模の拡大を図ります。
- 施設園芸や畜産の規模拡大等による生産拡大や品質向上を図る取組を支援します。
- 果実・花の輸出拡大に向け、生産体制の整備を支援します。
- 航空レーザ計測やICT等の先端技術を活用したスマート林業の推進により、効率的な木材生産を支援します。



ハクサイ高性能収穫機の実証



航空レーザ計測

- 栽培きのこの生産拡大を図る取組を支援します。
- 「ふくしま型漁業」の実現に向けて、水産資源を管理しながら、少ない労力で高収益をあげる取組を支援します。

2 福島ならではの価値を高め、産地の競争力を強化する

- ふくしま米のオール"特A"取得を推進します。
- 認証GAPの組織的な取組を強力に推進し「日本一」を目指します。
- オープンノックの取組拡大と生産流通体制の整備を進めます。
- 米やもも、ぶどう、ほんしめじ、種雄牛等のオリジナル品種開発と産地形成を進めます。
- 地域団体商標や地理的表示(GI)の登録を推進します。
- 福島大学との連携により、「ふくしまイノベーション」のおいしさや機能性成分などの科学的知見を活用します。
- シーベトアイスの活用など水産物の高鮮度・高品質化を図る技術や新たな加工品の開発を進めます。



福島大学との連携協定締結式

3 地域資源の活用により中山間地域の収益力向上を図る

- 地域の豊かな農林水産資源を活用する地域産業6次化の取組を支援します。
- 保健機能を有する地域特産物(おたねにんじん・エゴマ等)の産地づくりと需要拡大を図ります。
- 豊かな森林資源を活用した林・農連携による営農モデルを創出します。



間伐材等を暖房活用した菌床しいたけ栽培

生産活動を支える強固な生産基盤

1 農林水産業の復興・創生を加速する

- 農林水産分野のイノベーションを加速し、先端技術の開発実証とその普及を進めます。
- 被災した農地、ダムやため池、漁港、漁場、林道、海岸防災林、共同利用施設等の復旧を早急に進めます。
- 施設、機械、漁船等の整備やほ場整備を進めるとともに、営農モデルの実証や研究成果の普及により、農林水産業の面的再開を加速します。
- 放射性物質の影響を受けたため池の調査や森林の再生に向けた整備を進めます。



ロボットトラクタ

- 放射性物質の影響を受けたため池の調査や森林の再生に向けた整備を進めます。

2 持続可能な生産構造を支える人材を育成する

- 就農情報の発信、受入体制の整備や雇用就農に向けたマッチング等により、新たな担い手となる新規就農者の確保・育成を図ります。
- 認定農業者や女性農業者の育成を図るとともに、経営体の法人化や企業の参入をすすめます。
- 地域農業の将来像を描く「人・農地プラン」の作成と実現に向けた取組を支援します。



ふくしまの農業
未来トーク

- 就業環境の整備や技術継承の取組への支援により林業従事者の確保と育成を進めます。

- 漁業後継者の就業や技術の継承を支援します。

3 生産基盤の整備を進める

- 農地の大区画化・汎用化等のほ場整備、農業用水利施設の長寿命化、森林や林道等路網の整備などを進めます。
- 農林漁業者の収益力向上や産地の競争力強化につながる共同利用施設等の整備を進めます。
- 森林整備の基盤づくりのため、航空レーザ計測により市町村の路網整備計画策定を支援します。



大区画ほ場整備

4 魅力ある農山漁村の暮らしと環境をまもる

- 日本型直接支払等を活用し、地域内外からの人材確保や交流を行いながら共同活動による地域環境やコミュニティの維持・向上を図ります。
- 鳥獣被害軽減のため、専門員の育成や総合的な対策を支援します。
- 農山漁村、森林の多面的機能や地域資源について情報発信を行い、体験や交流を通して地域活性化を図ります。
- 農業用ため池の改修工事やハザードマップの作成を進め、住民の安全確保等を図ります。



専門員の育成研修
(電気柵の点検)

マーケット・インによる流通・販売戦略

1 消費者等の理解を促進し、信頼を取り戻す

- 農林水産物等緊急時モニタリング事業
- ふくしまの恵み安全・安心推進事業
- 米の全量全袋検査推進事業
- 第三者認証GAP取得等促進事業
- 肥育牛全頭安全対策推進事業
- 安全なきの原木等供給支援事業
- 森林環境モニタリング調査事業
- ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業
(県産農林水産物の利用拡大支援事業)
(学校・病院に広がる地元産食材の利用支援)
- ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業(食育推進活動を支援)
- もっともっと木づかい推進事業
(県産材の活用促進・ふれあい創出)

2 ブランディングをすすめて、競争に打ち勝つ

- ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業 **一部新**
(ふくしまプライドフェアの開催、パッケージの改良、ふくしま満天堂の展開、テレビやアニメ等によるPR)
- もっともっと木づかい推進事業(再掲)
(県産材の需要拡大支援、東京オリパラへの提供によるPR)
- ふくしまからはじめよう。森林とのきずな事業
(森林認証制度の普及)

3 新たな販路を開拓し、販売網を拡大する

- ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業 **一部新**
(オンラインストアや量販店等での販売促進、輸出回復に向け海外への魅力PR)
- ふくしま県産材競争力強化支援事業 **新規**
(県産材製品の販路拡大支援)
- 福島県産水産物競争力強化支援事業 **一部新**
(エコラベル認証水産物等の販路拡大支援、大手量販店への販売棚設置、外食産業への販路確保、水産PRイベント開催)
- ふくしま水産バリューチェーン推進事業 **新規**
(生産性向上や産地市場の流通機能強化を支援)
- インバウンドを通じたふくしま産農産物等販売促進事業 **新規**
(都内で県産農産物を食べてもらう機会を創出しその情報を発信)

所得向上を目指した戦略的な生産活動

1 規模拡大や効率化により生産力を強化する

- 農地利用集積対策事業(農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積)
- 担い手づくり総合支援事業(地域農業をリードする経営体の育成支援) **新規**
- 多彩なふくしま水田農業推進事業 **一部新**
(1年2作、2年3作体系導入推進、水田の高度利用化、中・外食用米の作付拡大)
- アグリふくしま革新技術加速化推進事業 **新規**
(先端技術を活用した経営の大規模化・省力化モデルの創出)
- スマート農業加速化実証プロジェクト事業 **新規**
(ロボット・AI技術等の実証)
- 施設園芸産地力強化支援事業(良質な水源確保による施設園芸の推進) **新規**
- 実り豊かなふくしまの産地整備事業(園芸施設・オリジナル品種導入支援)
- 産地パワーアップ事業(施設整備、機械・パイプハウス等の導入)
- ふくしまの畜産復興対策事業(繁殖牛、乳用牛初妊牛の導入支援) **一部新**
- 畜産競争力強化対策整備事業(畜産クラスターによる大規模経営化支援)
- 「園芸王国ふくしま」グローバルリンク事業 **一部新**
(輸出力強化にむけた生産体制整備、流通・品質確保技術の実証)
- 栽培漁業振興対策事業(ヒラメ、アワビ、アユの種苗放流支援)
- 資源管理型漁業推進事業(資源管理の推進)
- 林業成長産業化地域創出モデル事業 **一部新**
(レーザ計測や高性能機械導入等による林業成長産業化の推進)
- 林業構造改善事業(高性能林業機械の整備支援) **新規**

2 福島ならではの価値を高め、産地の競争力を強化する

- 福島大学食農学類地域課題解決実践講座設置支援事業 **新規**
(先進的な農業経営者の育成や革新産地の形成を図る講座を支援)
- 多彩なふくしま水田農業推進事業(ふくしま米オール“特A”獲得推進事業)
(食味・品質の向上を目指し、主要7産地・品種での特A取得を推進)
- 売れる！大豆・麦・そば魅力ある産地づくり事業(新品種導入高品質化支援)
- 第三者認証GAP取得等促進事業(再掲)(GAP取得支援)
- 環境にやさしい農業拡大推進事業(オーガニック認証取得と施設等整備支援)
- 環境保全農業型直接支払(有機農業、堆肥施用等に対する直接支払)
- ふくしま農林水産競争力強化に向けた重点研究事業 **一部新**
(オリジナル品種開発、おいしさの科学的知見の活用)
- 福のしま「きのこの里づくり」事業 **一部新**
(ほんしめじオリジナル品種「ふくふくしめじ」等の生産拡大を推進)
- 福島県産水産物競争力強化支援事業(再掲) **一部新**
(水産エコラベル取得支援、高鮮度・高品質化のための技術開発、機器整備支援)
- 先端技術活用による水産業再生実証事業(新たな水産加工品の開発)

3 地域資源の活用により中山間地域の収益力向上を図る

- ふくしま地域産業6次化戦略促進支援事業 **新規**
(人材育成、商品開発・マーケティング支援)
- ふくしま「林・農」連携モデル創出事業 **新規**
(森林資源を活用した新たな営農モデル創出)
- 菜食健康ふくしま！地域特産物活用事業 **新規**
(おたねにんじん・エゴマ等の地域特産物の産地づくりと需要拡大)
- 福島大学食農学類による地方創生モデル創出事業 **新規**
(地域資源を活用した地域の活性化)

生産活動を支える強固な生産基盤

1 農林水産業の復興・創生を加速する

- 農林水産分野イノベーション・プロジェクト推進事業 **一部新**
- アグリイノベーション活用型営農モデル推進事業
(ICT等の生産技術の導入と新たな流通・販売体系に対応した営農モデル実証)
- 復興基盤総合整備事業、復興再生基盤整備事業
- 海岸防災林造成事業(海岸防災林の復旧)
- 経営構造改善事業(魚市場等の整備支援)
- 共同利用漁船等復旧支援対策事業
- 漁場復旧対策支援事業
- 福島県営農再開支援事業(営農再開に必要な支援) **一部新**
- 被災地域農業復興総合支援事業(被災農業者への施設等貸与による支援)
- 原子力被災12市町村農業者支援事業
- 東日本大震災農産生産対策事業・畜産振興対策事業
- ふくしま森林再生事業(公的主体の森林整備)、広葉樹林再生事業
- ため池等放射性物質対策事業

2 持続可能な生産構造を支える人材を育成する

- ふくしまの次代を担う多様な担い手確保支援事業 **新規**
(新規・女性農業者支援、受入体制整備、雇用就農・法人育成支援)
- 農業次世代人材投資事業(就農前研修、就農直後の資金の交付)
- 地域農業担い手育成支援強化事業(農地プライド育成、経営の法人化支援)
- 企業農業参入サポート支援事業
- 森林整備担い手対策基金事業(林業担い手の確保・育成)
- 地域林業技術伝承事業(林業技術の継承)
- 漁業担い手「心のふれあい」促進事業(後継者への漁労技術研修等)

3 生産基盤の整備を進める

- 経営体育成基盤整備事業(農地の大区画化・汎用化等を支援)
- 中山間地域総合整備事業(農業生産基盤と生活環境基盤を一体的に整備)
- 耕地災害復旧事業(自然災害等で被災した農地等の復旧)
- 産地パワーアップ事業(集出荷施設整備)
- 県単基幹水利施設ストックマネジメント事業(水利施設長寿命化)
- 森林情報活用路網整備推進事業(航空レーザ活用による計画策定支援)
- 森林情報(GIS)活用推進事業(森林情報の一元管理、森林クラウド整備)
- 森林整備事業(伐採・再造林の一貫施策)
- 林業専用道整備事業(林道の整備、既設林道の改良)

4 魅力ある農山漁村の暮らしと環境をまもる

- 地域をつなぐ農村交流活動事業(地域外との交流連携支援) **新規**
- 中山間地域等直接支払事業、多面的機能支払事業
- 遊休農地活用促進総合対策事業(遊休農地の活用促進ほか)
- 福島大学食農学類地域課題解決実践講座設置支援事業 **新規**
(再掲)(鳥獣害対策に関する講座を支援)
- 鳥獣被害対策強化事業(市町村リーダー育成等) **一部新**
- 地域の力で進める！鳥獣害対策事業(活動支援)
- 内水面漁業被害防止対策事業(カワウ等捕獲の支援)
- 治山事業(山地の整備、水資源の確保)
- 森林づくり総合対策事業(森林づくり活動支援)
- ふくしま植樹祭開催事業(ふくしま植樹祭開催)
- 県営ため池等長寿命化対策事業(ため池の改修工事)
- 震災対策農業水利施設整備事業(ハザードマップの作成)

平成31年度農林水産部重点事業のポイント

福島県農林水産部
(平成31年4月1日版)

資料2-4

背景
↓
方向
↓
対策

販売棚の喪失

7年が経過し、棚が他産地へ置き換えられ、価格水準の低下が固定化。

生産構造の脆弱化

農業従事者の減少と高齢化が急速に進み、担い手が不足してきているとともに、生産基盤が減少。

産地間競争の激化

原子力災害対応等に追われ、産地強化対策に大幅な遅れ。

中山間地域等の活力低下

従事者減少や鳥獣被害等により農業生産活動の維持が困難となる地域が顕在化。

TPP11、日EU・EPAの発効TAGの交渉開始

関税削減等への対策が必要。

販路の拡大

消費者等の理解促進、販売棚の獲得、海外を含めた販路拡大の取組を推進。

産地の生産力・競争力強化

低下した生産力を強化するとともに、高品質化やブランド確立のための取組を強化。

多様な担い手の育成・確保

新規就農者の安定確保・定着の促進、法人化や企業参入等による持続的な生産構造を確立。

中山間地域活性化・林業成長産業化

地域資源を活用し、中山間地域の所得確保につながる取組を強化。

販路の拡大

販路拡大に向けた取組を継続して支援する。

【(一部新)ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業(H30-32年度:2,090,717千円)】
量販店やオンラインストア等での販路拡大、パッケージングの改良等による販売力強化

【(新)第三者認証GAP取得等促進事業(H28-32年度:476,922千円)】
第三者認証GAP取得等を支援し、安全性確保と信頼される産地を育成

【(一部新)福島県産水産物競争力強化支援事業(H29-32年度:775,495千円)】
水産エコラベル活用、高鮮度出荷等による付加価値向上、量販店や外食産業等への販路確保の取組を支援

【(一部新)「園芸王国ふくしま」グローバルリンク事業(H30-32年度:35,000千円)】
輸出の拡大に向け、海外ニーズに対応した品質の高い果実、花き等の供給体制を整備

インバウンド需要に対応した販路拡大を支援する。

【(新)インバウンドを通じたふくしま産農産物等販売促進事業(H31-32年度:19,607千円)】
都内の人気観光地等で県産農産物を食べてもらう機会を創出しSNS等活用により販売を促進

多様な担い手の育成・確保

新規就農者の確保や法人化、企業参入の取組を支援する。

【(新)ふくしまの次代を担う多様な担い手確保支援事業(H31-33年度:100,669千円)】
新規就農者の確保・育成や地域労働力の確保、就農後間もない農業者等の育成の取組を総合的に実施

【(新)アグリイノベーション活用型営農モデル推進事業(H30-32年度:40,600千円)】
被災地域において先端技術や新たな流通体系による園芸経営モデルを実証(新規分は31より営農再開支援事業で実施)

中山間地域活性化・林業成長産業化

林業の成長産業化に向けて、森林整備や県産材の販路拡大を支援する。

【(新)ふくしま林・農連携モデル創出事業(H31-33年度:農業:48,115千円、林業:37,200千円)】
農業と林業が連携し、豊富な森林資源を活用した営農モデル等を構築

【(新)ふくしま県産材競争力強化支援事業(H31-32年度:18,300千円)】
性能・品質の優れた県産材製品の首都圏や海外への販路拡大活動を支援

【(新)森林情報活用路網整備推進事業(H30-32年度:146,260千円)】
航空レーザー技術を活用し高精度の森林・地形情報を取得し、市町村の林道整備計画の策定を支援

産地の生産力・競争力強化

スマート農業の導入による効率化・省力化、規模拡大を支援する。

【(新)アグリふくしま革新技術加速化推進事業(H31年度:49,728千円)】
開発された新技術、高性能機械等を活用したフィールド実証を全県実施

生産基盤の強化、高品質安定生産の体制の確立を支援する。

【(一部新)多彩なふくしま水田農業推進事業(H30-32年度:72,120千円)】
米オール特Aの獲得、F酒50号生産体制の構築、輸出・業務用米生産による所得確保を支援

【(新)施設園芸産地力強化支援事業(H31-33年度:20,000千円)】
良質な水源を確保し、園芸産地の生産力拡大を支援

【(一部新)ふくしまの畜産復興対策事業(H25-32年度:142,646千円)】
畜産生産基盤と種雄牛によるブランド力の回復に向け、生産、経営安定対策を一体的に実施

高付加価値化によるブランド力の強化を支援する。

【(一部新)ふくしま農林水産競争力強化に向けた重点研究事業(H30-32年度:24,605千円)】
もも・ぶどう・ほんしめじの重点的品種開発とふくしま11の美味しさ等の科学的根拠を見える化

【(新)ふくしま地域産業6次化戦略促進支援事業(H31-32年度:203,655千円)】
地域の豊かな農林水産資源を活用する地域産業6次化の取組を支援

沿岸漁業の本格操業再開を後押しする市場機能の強化等を支援する。

【(新)ふくしま水産バリューチェーン推進事業(H31-32年度:4,500千円)】
産地と消費地が連携し、水産バリューチェーン全体で行う生産性向上や産地市場の流通機能強化の取組を支援

福島大学食農学類が行う農業・農村の課題解決に向けた取組を支援する。

【(新)福島大学食農学類地域課題解決実践講座設置支援事業(H31-40年度:20,000千円)】
福島大学食農学類が設置する、鳥獣害対策や農業経営の高度化に関する講座を支援

地域資源等の活用により中山間地域の収益力向上を支援する。

【(新)菜食健康ふくしま！地域特産物活用事業(H31-33年度:26,346千円)】
保健機能を有する地域特産物の更なる振興を図るとともに、食用需要の拡大の取組を推進

【(一部新)福のしま「きのこの里づくり」事業(H30-32年度:12,964千円)】
ほんしめじオリジナル品種「ふくふくしめじ」等の生産拡大を推進

魅力ある農山漁村の暮らしと環境をまもる取組を支援する。

【(一部新)鳥獣被害対策強化事業(H30-32年度:108,703千円)】
被害軽減のための有害鳥獣捕獲と被害対策を先導する市町村リーダー育成を支援

【(新)地域をつなぐ農村交流活動事業(H31-33年度:10,800千円)】
農地保全等の共同活動組織と地域外の人との交流を活発化させ農村地域の維持・活性化を図る。

背景・課題

風評による販売棚の喪失

- 7年が経過し、棚が他産地へ置き換えられ、価格水準の低下が固定化。
- 安全な農産物への関心の高まり。

産地間競争の激化

- 風評対策等原子力災害対応に追われ、産地強化対策に遅れ。
- 販売単価の低迷、コスト上昇による経営環境の悪化

生産構造の脆弱化

- 農業従事者の減少と高齢化が急速に進展し、担い手が絶対的に不足してきているとともに、生産基盤が減少。
- 新規就農者の経営不安定、離農

中山間地域等の活力低下

- 従事者減少や鳥獣被害等により農業生産活動の維持が困難となる地域が顕在化。

TPP11等の交渉妥結 TAGの交渉開始

- 関税削減等への対策が必要

施策の方向性

販路の拡大

- 消費者等の理解促進
- 販売棚の獲得
- 海外を含めた販路拡大
- 安全な農産物の生産
- 有機農業の推進
- 風評の実態把握

産地の生産力・競争力強化

- 低下した生産力の強化
- 農畜産物の高品質、高付加価値化
- ブランド確立を図る取組の強化
- 農業関連産業等との連携による生産力等の強化

多様な担い手の育成・確保

- 新規就農者の安定確保・定着
- 新規就農者や担い手の経営体質の強化・所得の確保
- 地域農業を支える若手農業者の育成
- 法人化や企業参入等による持続的な生産構造の確立
- 若い世代の農業への関心向上

中山間地域活性化

- 地域資源を活用した所得の確保
- 魅力ある農山漁村の地域環境の維持・向上

必要な対策

販路の拡大

○ 消費者の理解促進と信頼される産地づくりをすすめる

- 1 モニタリングや各種検査等による安全確保と分かりやすい情報発信を行う
- 2 認証GAP取得等を支援し、安全性、品質の確保と信頼される産地を育成する

○ 販路開拓とブランディングにより販売力の強化を図る

- 3 長期かつ安定的な供給体制を構築するため、販促フェアや商談会等の取組を支援し、常設棚の確保をすすめる
- 4 量販店やオンラインストア活用等による販路拡大を支援する
- 5 商品や産地のイメージ向上を図る取組やパッケージングの改良等を支援する
- 6 海外での商談会などの輸出拡大に向けた環境整備を支援する
- 7 本県産農産物の流通における風評実態を調査し、対策を継続する

産地の生産力・競争力強化

○ 規模拡大や効率化により産地の生産力を高める

- 1 担い手への農地利用集積の取組を支援する
- 2 高性能機械やICT、省力技術等による高収量・安定品質の生産や規模拡大を支援する
- 3 飼料用米等の作付拡大、園芸品目導入など地域における水田フル活用の取組を支援する
- 4 施設園芸や畜産の規模拡大を支援し、生産量の拡大を図る
- 5 果樹等の輸出拡大に向けた生産・供給体制の整備を支援する
- 6 農地の大区画化・汎用化等の生産基盤の整備をすすめる

○ 高付加価値化等により産地の競争力を高める

- 7 ニーズを踏まえたオリジナル品種の開発と生産拡大を図る
- 8 GI等の知的財産の活用や市町村の広域連携による生産・販売戦略の構築を支援する
- 9 有機農業、環境保全型農業の取組への支援や消費者理解の促進を図る
- 10 豊かな地域資源を活用した地域産業6次化の取組を支援する
- 11 種子法廃止に対応した主要農作物の種子の生産及び品質の確保を図る
- 12 農業を取りまく関連産業の情報把握と連携強化を図る

多様な担い手の育成・確保

○ 若い世代への情報発信により、本県農業への関心をも高める

- 1 地域の様々な農業について情報発信し、農業の理解や就農意欲の促進を図る
- 2 魅力的な農業を幼少期から理解するため、様々な主体（若い農業者、農業女子、高齢者等）が関わるプログラムを創設する
- 3 担い手や新規就農者の育成にかかる県の重点支援をPRする

○ 地域農業を支える担い手や新規就農者等の育成・確保を図る

- 4 担い手の技術・経営面における取組を支援し、所得向上と経営安定を図る
- 5 担い手の組織化・法人化、企業等の円滑な農業参入を支援する
- 6 後継者も含めた新規就農者等の技術習得や経営安定を地域全体でサポートする仕組みの構築を図る
- 7 就農希望者の受け皿となる農業法人の育成や地域の受入体制の整備を図る

中山間地域活性化

○ 魅力ある農山村の暮らしと環境を守る

- 1 農業の多面的機能や地域コミュニティ、生活環境の維持・向上を図る取組を支援する
- 2 鳥獣被害軽減を図るための人材の育成や総合的な対策を支援する

○ 特色ある地域資源を活用し所得を確保する

- 3 地域特産物やオリジナル品種を活用した産地づくりやブランド化を支援する
- 4 豊かな地域資源を活用した地域産業6次化の取組を支援する（再掲）

その他（共通的な取組）

- 1 福島大学食農学類と連携した取組を推進する
- 2 循環型農業等と再生可能エネルギー、新規就農者確保と定住支援、地産地消と学校給食や観光等の取組について施策横断的に推進する
- 3 補助事業の手続き等の簡素化や政策形成過程の見える化を図る